

第2回旅客機・エアライン検定

3級解答（2021年7月9日更新）

※黄塗部分に関しては次項にてご説明差し上げます。

問題番号	正解	問題番号	正解	問題番号	正解	問題番号	正解
1	2	21	2	41	2	61	2
2	3	22	全員正解	42	4	62	2
3	3	23	2	43	4	63	2
4	2	24	4	44	4	64	1
5	4	25	4	45	4	65	3
6	1	26	全員正解	46	2	66	3
7	2	27	4	47	1	67	2
8	2	28	1	48	3	68	3
9	1	29	3	49	1	69	4
10	4	30	1	50	1	70	1
11	3	31	3	51	2	71	2
12	3	32	3	52	4	72	1
13	4	33	3	53	1	73	3
14	2	34	2	54	3	74	4
15	3	35	4	55	1	75	3
16	2	36	2	56	3	76	2
17	1	37	3	57	4	77	4
18	2	38	2	58	2	78	2
19	3	39	3	59	3	79	1
20	1	40	3	60	3	80	3

第2回旅客機・エアライン検定の問題につきまして、下記の問題につきましては、前項の通り採点させていただきます。

問 022

1965年に乗客50～60人クラスのレシプロ機としてデビューした日本製の航空機名はどれか？

- ① YS-10
- ② YS-11
- ③ YS-12
- ④ YS-13

正解

- ② YS-11

公式テキスト P36, 模擬問題問 11 からの出題でしたが、誤りがありました。

正解予定の YS-11 は、双発ターボプロップ機であり、P39 に双発ターボプロップ機として記載されています。問題不成立とさせていただきます。

正しくは双発ターボプロップ機でございます。

問 026

YS-11 の説明に当てはまらないものはどれか。

- ① 双発ターボプロップ機である
- ② 官民共同で設立された日本航空機製造が開発した
- ③ 1965年に定期路線に就航した
- ④ 1996年まで定期路線で活躍した

正解

- ④ 1996年まで定期路線で活躍した

ですが、問 022 同様、YS-11 についてレシプロ機・双発ターボプロップ機両方の記載が公式テキストに発生しているため、問題不成立とさせていただきます。

問 060

1957年に設立され、全日空の前身となった航空会社はどこか。

- ① 日本航空輸送
- ② 東亜国内航空
- ③ 日本ヘリコプター輸送
- ④ 川西航空機

正解

- ③ 日本ヘリコプター輸送

問題文に誤りがありました。

正しくは「1952年に設立され、全日空の前身となった航空会社はどこか」でございました。

選択肢の中では全日空の前身は③のみのため、③を正解とさせていただきます。

受験者の皆さまには上記、訂正の上お詫び申し上げます。